

令和5年度第3回
岡山市男女共同参画専門委員会要旨

- 1 日 時 令和6年2月5日(月) 午後3時～午後4時30分
- 2 場 所 岡山市役所議会棟3階第1会議室
- 3 出席委員 小倉委員、栢野委員、岸委員、東海林委員、田村委員、中塚委員、濱西委員、藤田委員、山本委員
- 4 出席職員 (市民協働局)大谷次長
(女性が輝くまちづくり推進課)長谷川課長、篠原担当課長、
繁定課長補佐、大熊主査、森本主事
- 5 傍聴者 なし

6 次 第

(開会)

市民協働局次長挨拶

(1) 議事

①岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第3項運用基準適用について(報告)(資料4、資料4-参考)

②岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例改正について(資料1)

③「第5次さんかくプラン」年次報告(令和5年度)(案)について(資料2)

(2) その他

7 配付資料

資料1 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例改正について(新旧対照表)

資料2 「第5次さんかくプラン」年次報告(令和5年度)(案)

資料3 岡山市男女共同参画専門委員会スケジュール

資料4 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第2項の適用に係る審査票(第19条第3項運用基準適用)【介護認定審査会】

資料4-参考 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例(抜粋)ほか

8 会議の状況

(1) 議事

議事① 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例第19条第3項運用基準適用について(報告)【介護認定審査会】

○説明内容

資料4、資料4-参考について事務局から説明

○意見等

・介護認定審査会の法律を読むと、各種専門領域及び学識経験者が入っている。教鞭を取っておられる先生方もこの委員会に入ることができるはずなので、それを踏まえるともう少し男女比率が均等になると思う。今後そういったことも協議していただけたら。

→以前も同様の意見をいただいていたが、学識経験者は入っていない。事務局から、所管課に再度そのような意見があったことを伝えさせていただく。

議事② 岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する条例改正について

○説明内容

資料1について事務局から説明

○意見等

- ・特になし

議事③ 「第5次さんかくプラン」年次報告（令和5年度）(案)について

○説明内容

資料2について事務局から説明

○意見等

■p.10「目標⑥ 『男は仕事、女は家庭』という考え方に否定的な人の割合」

- ・10歳代の女性と80歳代の男性しか書いていないが、10代の男女、80代の男女くらい書いてもらおうと性別の比較ができると思う。
- ・男女で年代ごとにどう変化するかグラフを入れると分かりやすいのではないかな。
- どのような形で入れると分かりやすいか検討する。
- ・やはり年代が高い人は、男は仕事、女は家庭という根強い意識がある方が多いと感じる。その意識解消に向けて引き続き啓発を行うというのは、どのようなアプローチをしていくのか。
- プランの中の様々な施策で意識を変えていく。家庭・職場・学校など、様々な場面で、意識を変えるために施策をしている。例えば職場だと女性活躍推進シンポジウムで、職場での男女平等を進めていくにはどのようにしたら良いか、男性育休を増やしていくにはどのようにしたら良いかといった内容について専門家の方に話をいただいている。プランに載っている多くのものを毎年継続していくことで変えていけたらと考えている。

■p.15「目標⑩ 市の実施するDV・デートDV・性暴力・性犯罪防止啓発事業の参加者数」

- ・受講者数が足りていないが、大学・中学は受講しているので、高校にも割当をして受講するようにすればクリアできるのではないかな。
- 必ず出しなさいとまでは言えないが、声はかけていく。
- ・枠を広げると可能性はあると思うが、難しいのかな。
- さんかく岡山や、女性が輝くまちづくり推進課の職員が講師として行く場合は予算には関係ないが、その他は講師代5回分。これからの検討課題ではあるが、予算的に来年度も5枠。
- ・予算に関係のない部分を増やせば良いのではないかな。
- ・市が実施しているエイズ出前講座で、10分くらいデートDVの話をする。性教育でしているのをカウントするともっとあるのではないかな。また、その時にデートDVのパンフレットを配ると中学生が実際見てくれる。数値目標も上げた方が良いが、現実的に中高校生がそれを知っている、聞いたことがあるということが大事。
- ・より一層PRが必要。各学校に、従来のやり方ではなくもっと必要性を強調してPRを。
- ・45ページ②小中高生等への啓発の“等”のところに、大学が入っているのか。入っているのであれば、具体的に大学、専修学校も書いていくようにしても良いのではないかな。特に専修学校は専門領域を学ぶ学生が多いため、専門職として働くときにこの領域を勉強しておかなければいけないという学生も少なからずいると思う。

■ p.69 「農業委員会活動への女性の参画」

- 委員数と割合が出ているので、厳しい状況だということがよく分かる。その下の研修についても委員数が全体で何人いるか書いた方が分かりやすい。
- 今回の意見を受けて修正した箇所の確認と、これ以降の軽微な修正については正副委員長に一任することで委員了承。

(2) その他

- 資料3について事務局から説明。
- 委員の任期が今年度で終了するため、現在次の公募委員を募集している。決定が3月末予定のため、来年度の第1回会議の日程調整については新たな委員が決まり次第連絡する。
- 各委員から一言ずつ感想をいただく。